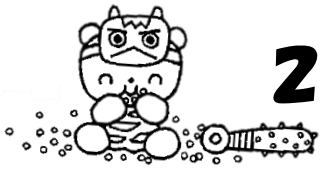


2月　園だより

令和６年 ２月 １日
北区立清水坂保育園

毎日のこの冬一番の寒さから一転して、３月下旬の温かさの日もあり、気温差の激しいこの頃。花粉も早々に飛び始めたようですね。突然のことにも、対応できるように想定範囲を広げ、臨機応変に対応できる柔軟さを備えていこうと思います。

暦の上ではそろそろ春。気持ちだけでもほっとします。鬼退治の時期です。保育園では安全のため「まめ」は使いませんが、子どもたちの念のこもった手作りの豆で鬼退治を行います。保育園で本物の豆を使用しないのは、安全のため。年の数を食べると健康に過ごせるといわれますが、炒り豆も食べません。５歳までは豆、ナッツ類は食べさせないよう、消費者庁から通達が出ています。

今年度３歳児が枝豆の栽培をしました。ほんの少し実が付きました。大豆は「畑の肉」といわれるように栄養価の高い食品ですが、枝豆が大豆になることや、大豆がきな粉になることなど、子どもたちもびっくりする食材です。みそ、納豆、しょうゆ、豆腐等々…お世話になっております。いろいろなものを、よく噛んで、味わい『食』を楽しいと思えるように、様々な角度から身近に感じていってほしいです。体は食べたものでできていることを改めて考えながら、子どもたちの健康につなげてまいります。　　園長 [redacted]

＜２月の予定＞

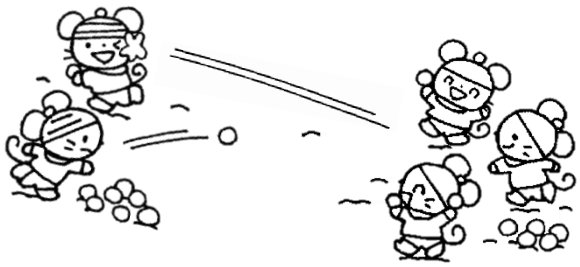
[redacted]日（[redacted]）　節分
[redacted]日（[redacted]）　身体測定
[redacted]日（[redacted]）　ごっこ遊びの会
避難訓練　　未定

＜３月の予定＞

[redacted]日（[redacted]）　ひなまつり
[redacted]日（[redacted]）　身体測定
[redacted]日（[redacted]）　さよなら会
避難訓練　　未定

～給食変更のお知らせ～

８日（木）　⇔　９日（金）



≪EMS 活動報告≫

環境紙芝居『やさしいエコ紙芝居』全６巻を購入。お話を楽しみながら、知る・考える・感じることができるようにしました。

『ごはんつぶマン』は、食べ物の大切さを教えてくれるお話。「どこからか、ごはんつぶマンが見てくれているかもしれないよ」「ピカピカにして、いい所を見せるぞ！」と子ども達は楽しく食事をしています。

『す・て・な・い・で！』は、おもちゃを大切に使うことを考えさせられるお話。読んでから、「トイドクターってすごいな」「大事に使うってすてきだね」という声が聞かれています。

難しい内容が多い EMS ですが「またあのお話見たいな」と少しずつ、子ども達にとって身近なものとなってきています。この活動が、地球に優しい心や、豊かな想像力につながっていくと信じ、続けていきます。

[redacted]記

≪接遇　活動報告≫

職員会議の中で『職員用接遇ハンドブック』の読み合わせを行い、基本から接遇を学び直し、意見交換を行いました。

原点に返ることで、職員一人一人が自身を振り返り、改めて接遇の大切さを学び、意識する機会になりました。

この次は、アンケートを行い、保護者の方の意見を取り入れた活動となるようにしていきたいと思います。

笑顔で明るい保育園を目指して取り組んでいきます。

[redacted]記

クラスだより

～子どものつぶやき～

１歳児　[redacted]組

A「これ、これ～」
B「これ？これは？」
C「これ、これね～」
A「これ～これ、これ！」…

　絵本を開き、お友だちと頭を付き合わせて、絵を指さして会話になっていました。真剣にやり取り（？）している姿がとても可愛いらしかったです。
　最近のお気に入りは、食べ物や電車です。繰り返し関わりながら、子ども達の興味を引き出し、思いを言葉にしていきます。

[redacted]記

２歳児　[redacted]組

A「屋根の上のとげとげなぁに？」
保育士「わぁ～　なんだろう」
A「バイオリンみたいだね！」
B「とげとげのおばけかな～」
C「鬼だ！　鬼だよ～」
　「怖いね！」
　「キャー　鬼だ！　逃げよう～」

　きっかけは突然でした。園庭中を走って逃げたり、木の陰に隠れたりして、鬼ごっこのスタートです。とりあえず、盛り上がった子ども達でした。
　とげとげの正体。それは『アンテナ』でした。

[redacted]記

３歳児　[redacted]組

A「あ！おひさま、あそこにいる！」
B「ほんとだ！うすいね～」
C「あそこで何しているんだろう～」
A「くもとあそんでいるんじゃない？」
C「かくれんぼかな？」
B「雲いっぱいだと見えないよね」
A「それは、ねてるとおもう！」。

　園庭遊びをしている時、その日は曇っていましたが、雲から透けて太陽が見えていました。いつもと違う見え方に不思議に思ったのでしょう。キラキラした目で友だちと話したり、相談したりしている姿が印象的でした。

[redacted]記

４歳児　[redacted]組

A「どこから来たんだろう？」
B「ここかな？」
A「こっちからかな？」
B「あ、きえた～」
B「お、かえってきた！おかえりなさ～い」

　ある日、床に虹を見つけました。
　絵本で、どうやって虹ができるのか、最近知った子ども達。玩具の棚の中を見たり、テーブルの下をのぞき込んだりと、屈折源を探し始めました。虹の周りを歩いていたら『ここだと消える』ことに気づきました。動いてみたら、また輝いた虹に、おもわず優しく声をかけていました。

[redacted]記

＜スクリーンタイムをご存じですか？＞
　スクリーンタイムとは、「携帯・タブレット＋ゲーム＋TV などの画面使用の合計時間」のこと。２歳以下は０時間、２～5 歳児は１時間以内が理想です。情報機器のスクリーンから発している光の影響で、入眠や睡眠の質への妨げになる可能性が心配されています。睡眠の不足は子どもの心身の成長を損なうだけでなく、将来の睡眠障害や生活習慣病などのリスクを高めると、指摘されています。
　子どもが「見たい」「やりたい」というからと、言われるままに手渡していませんか？「もう少し」の言葉に長時間になっていませんか？おとなしいからと、安心していませんか？今の大変さを理由にしていませんか？携帯に子守を任せていませんか？たとえ、教育目的の動画でも、子どもが一人で見ているだけでは良い影響は得られないそうです。便利な世の中になってきました。上手に利用し、しっかりルールを決めて、大人の間でもそのルールを共有できたらいいですね。